

R18



ほい

ろっ

おはよう
ごきげん
です





いやなんだそれ
なんでそんなこと
なってるんだ？

うるせえな
久々に物騒な現場で
ちよつと
はしゃいじまった
だけだろ

SH
エイ!

ちよつと
はしゃいだって
レベルじゃねえからな
それ



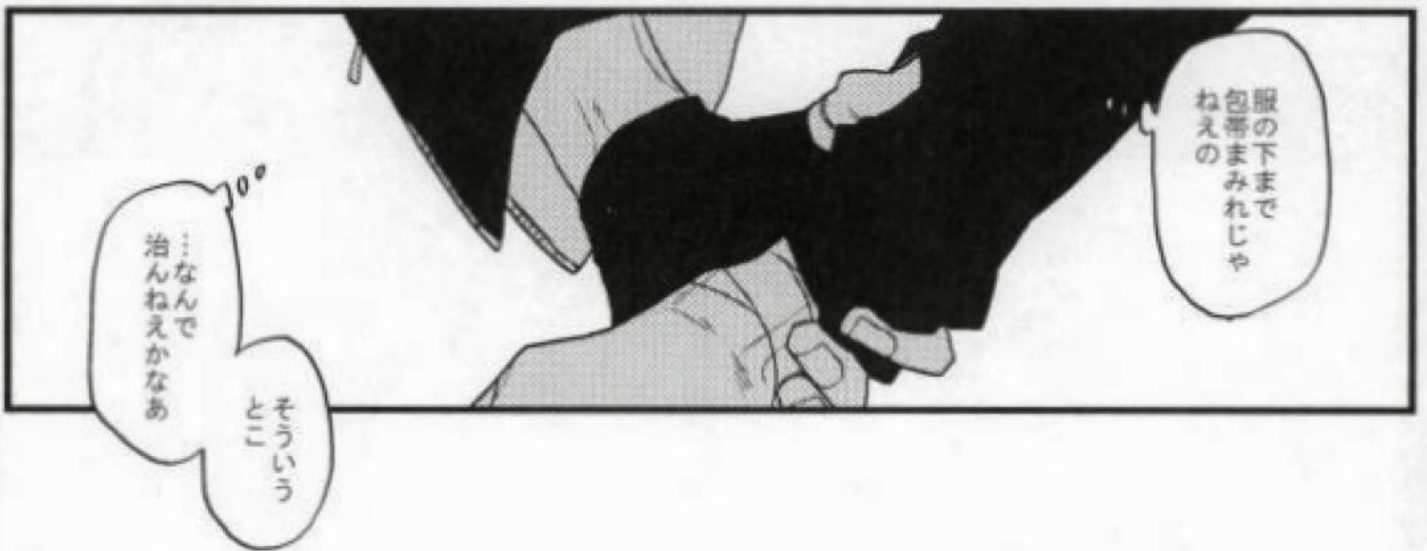
はあ!!!?



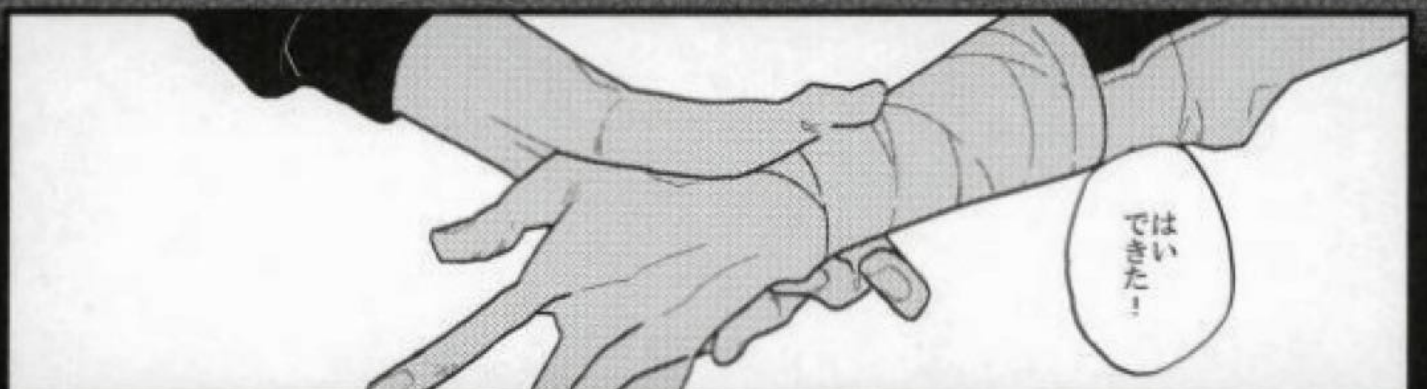
書類片づけたら
婆さんとこ行ってくるっての
HRまでには直すし
問題ないだろ

ああもう!

ハア!? 馬鹿
書類なんてどうでもいいだろ
ます婆さんとこ
行けっつーの!



相澤消太という人は 昔から生傷を絶やすことがない







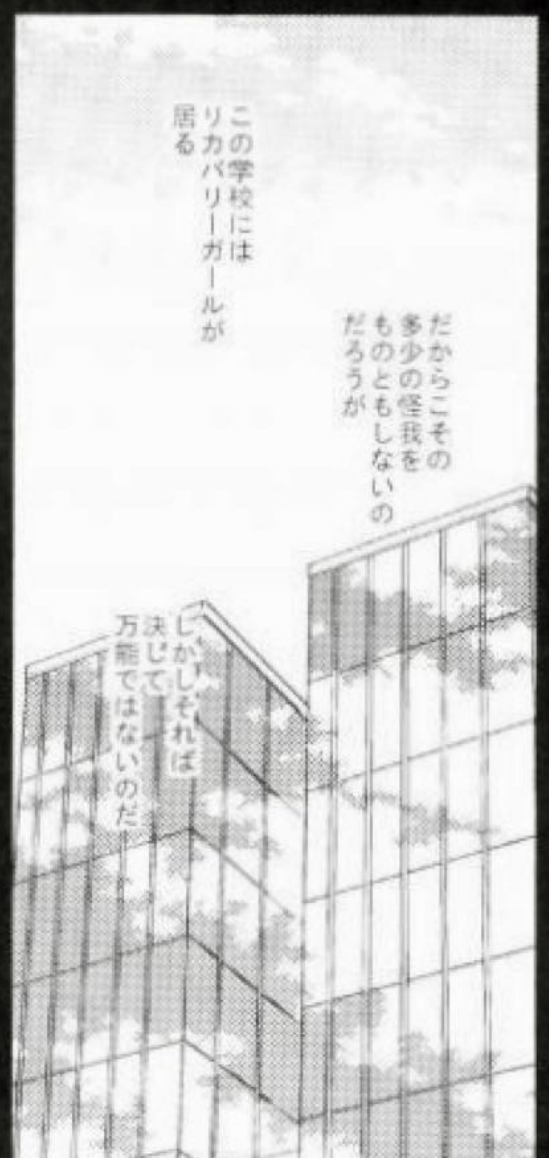
よしじゃあもう一周

なんのためのこらえだ!!?

行かせねえよ!!?

本当に
どうして彼は

こうも
身を削るばかりの
生き方を
するのだから



この学校には
リカバリーガールが
居る

だからこそ
多量の怪我を
ものともしないの
だろうが

しかしそれは
決して
万能ではないのだ

つまるところ
その生命力は
怪我を負った本人に
依存する

大きな怪我を
負えば負うほど
治癒に必要な
カロリーは増大する



彼女の個性は
「自己治癒力の活性化」

ゼリー飲料で
必要最低限の
カロリーだけ摂取し



その身を
削らんとばかり
動き回る彼の

治療による疲労が
どれだけのものか
創造に難くない

いつか

いつの日か
彼自身の生き方が

彼自身を
食いつぶして
しまうのでは
ないかと

その恐怖が
こびりついて
止まないのだ



おおっしや

じゃあ今日
西口のラーメンな

おんながけまをこやる

驕れよ

気分じゃ
ねえから

理不尽すぎねえ!?



だから
決めたのだ

彼が自身に
頓着しないので
あれば

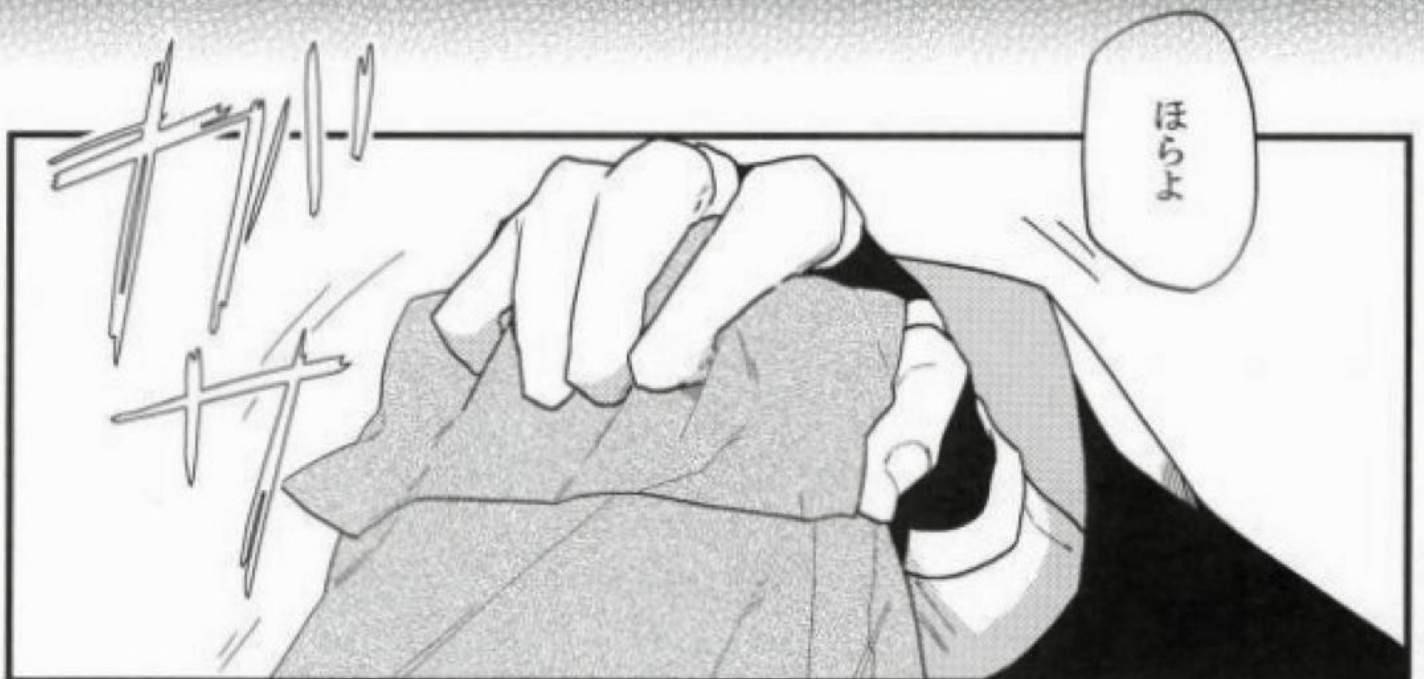
せめて
その生命力の源を
守ってやろうと

彼が身を削る
その分まで

自分が見ている
極ぎ足してやれば
いいのだと



ほらよ





きっと
何年経ったとしても
彼の性分は
変わりはない

自分には
これしかできないと
平然と
のたまうのだろう



ただひたすらに
己を削るように
生きる
この男に

せめて
少しでも
継ぎ足して
やれるのであれば



?
何見てんだか
食いたいのか

違う違う
いいからとっとと
食っちまえ

なら
遠慮なく

そうして今日も

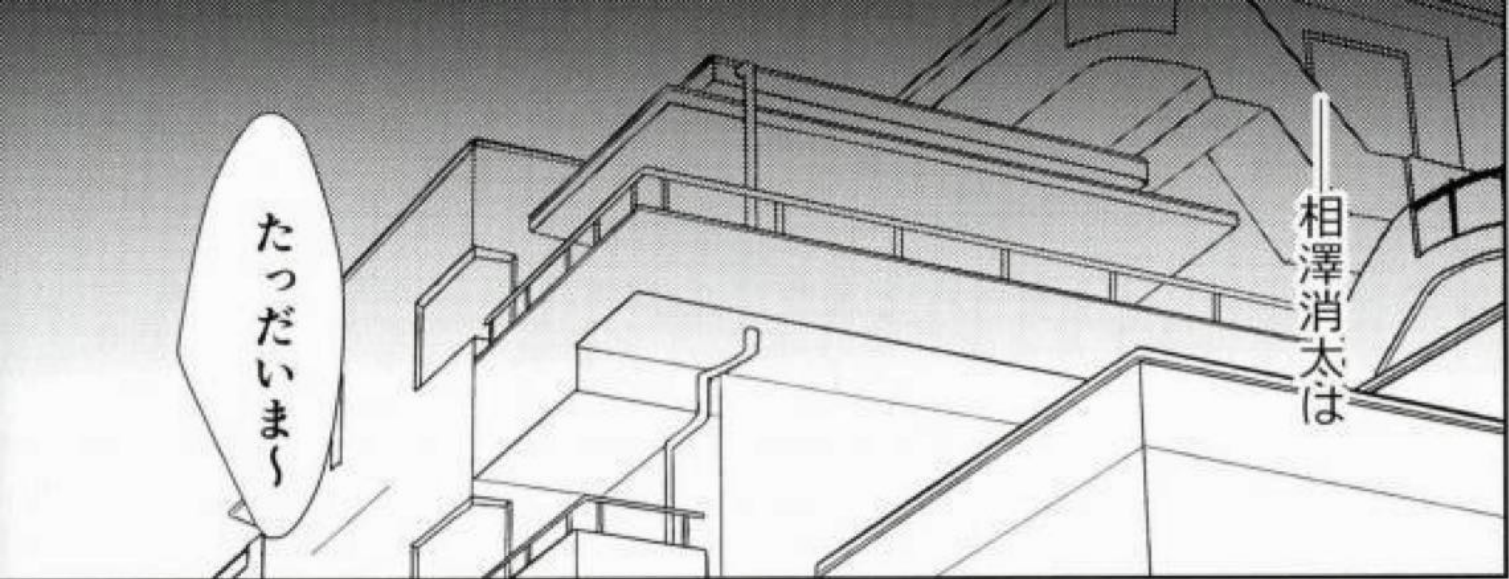
食べて

生きて



か" 3" 1" っ





相澤消太は

たったいま〜



あゝ、
こいつあ……



ふわっ



ん?



ストレスが
爆発すると

Y

ん

ん

今回は
相当だな...

Oh my God...

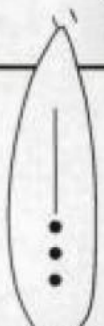


大量の料理を作るのだ



消太？

わざわざ料理を作る
というそのストレス
発散方法

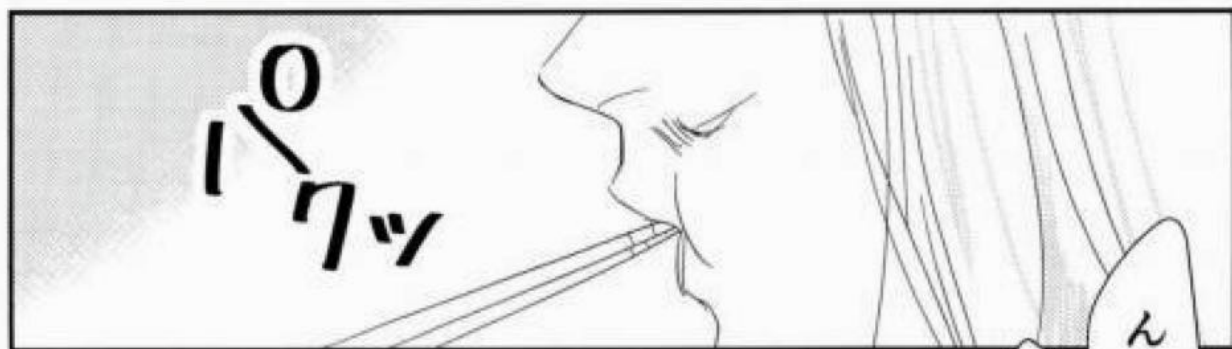


ただいま
消太

合理性を何よりも
優先するというのが



滅多に見られない
こんな姿と



ただ、この笑顔に

当たり前だろ

早く、手エ
洗ってこいよ

この発散方法も
悪くないと
思ってしまうのは
仕方ないだろう？

OK
、

と、その前に

調子乗んな

んーん

あー



この後に
ちよつと
嫌なことが
待っている
としても

いただきます！

おー



うまい？

ガッ

ガッ

うまい！



スッ

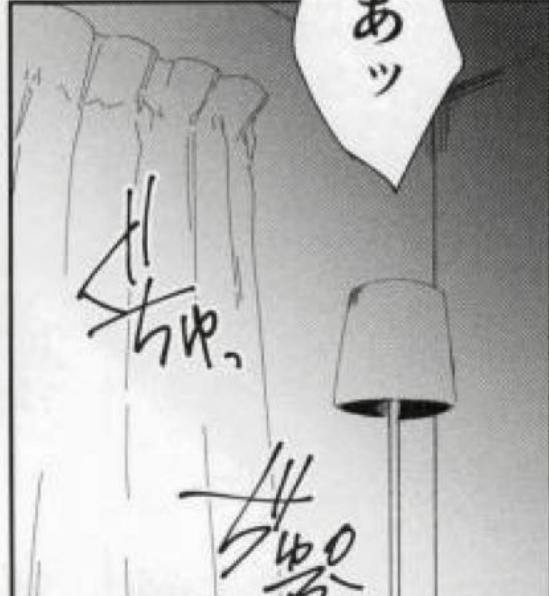
俺のお楽しみは
この後だからな



お前にはまだ
付き合っ
てもら
うから
な



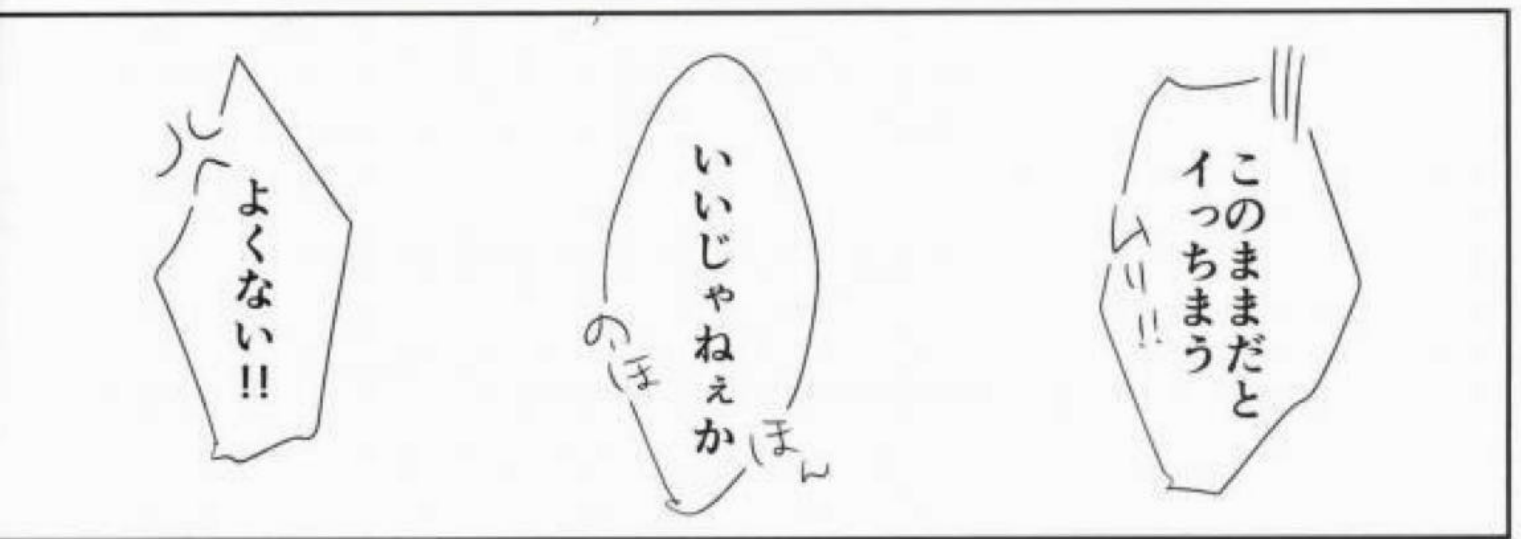
あッ



はあ











飲みました...

飲んだ？

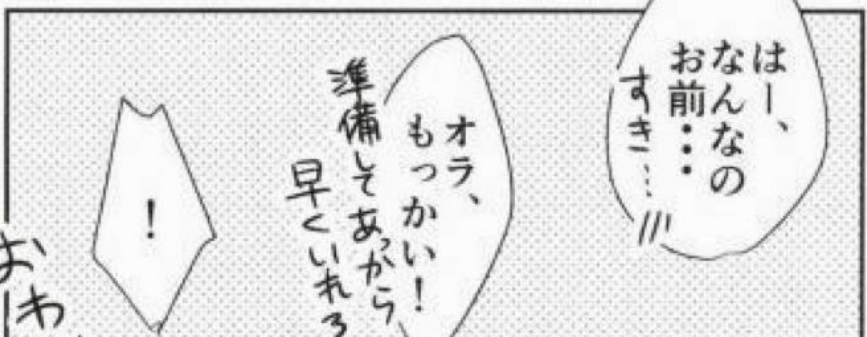


そんなの簡単だろ

ほんとにお前のそのストレス解消法なんなの...
なにで自分のザクザク飲まなきゃならぬの



俺も一緒に気持ちよくなるってだけ



はー、なんなのお前... すき...!!

オラ、もっかい！ 準備とあから早くいれろ

おわ



腹いっぱいのお前を気持ちよくして

20161230

MY HERO ACADEMIA

UNOFFICIAL

FANBOOK

PRESENTED

BY

NITOUSEI

*

VELONICA

